

ひよこ組

— 年間目標 —

- ◎ 神様に守られ、それぞれのペースで園生活に慣れていく
- ◎ 保育者の関わりによって信頼関係を築き食事や排せつ、衣服の着脱など身の回りことに関心をもつ

— 1学期の目標 —

- ◎ お祈りをしたり、讃美歌をうたい、心地よさを感じる
- ◎ 保育者に受け止めてもらいながら、新しい環境の中で安定して過ごす

— 活動内容 —

やってみる！ ✨

(健康な心と体, 自立心, 協同性)

- ・簡単な身の回りのこと(食事・片付け・着脱)に興味を持ちながら少しずつできるように、一人ひとりの成長に合わせ保育者と一緒に練習をしたり、まわりの友達から刺激を受け、真似ながら挑戦しようとする姿も見られた。
- ・一学期後半は、高月齢の子どもやトイレに興味のある子どもに声をかけトイレトレーニングを行った。排泄ができ驚いたり、喜ぶ姿も見られた。
- ・トイレを拒むこどももいたため、気持ちをくみとりながら、無理強いすることなく場所に慣れることからはじめるようにした。



たのしいこと いっぱい！

(健康な心と体, 自立心, 共同性, 言葉による伝え合い, 豊かな感性と表現)

- ・戸外遊びでは、一人遊びを楽しむ子どもが多く見られ、固定遊具や砂遊びなどで遊ぶ姿が見られた。また、高月齢の子どもは、一学期後半には玩具の貸し借りも見られ、友だちとの関りが少しずつ見られ始めた。
- ・室内では、絵本に興味を示す子どもが多く、保育者が読むと集中して見たり、指差しやジェスチャー、簡単な言葉を発して読んでほしい絵本をリクエストすることも多くあった。
- ・製作活動では、意欲的に取り組む姿が見られ、期待から自分の順番を待ち遠しそうに待っていた。
- ・にじみ絵をするとききれいな模様に驚きの声を出して喜ぶ姿も見られた。



— 1学期の反省 —

- ・ 成長の個人差も大きいため、一人ひとりの気持ちを尊重しながら、関わり方や声かけを工夫し自信や意欲を今後も育てていきたい。
- ・ 人数が少なく丁寧に関わることができたので、色々な製作遊びに取り組むことができた。

— 2学期の目標 —

- ◎ 身の回りのことに興味を持ち、少しずつでも自分でできたという達成感を味わう。
- ◎ 簡単なルールや約束事が理解できるようになる